



令和7年3月28日(金)、上今井公民館において、遊水地整備に係る『上今井両対策委員会への定期報告会』を実施させていただきました。

【報告事項】

- (1) 上今井遊水地整備の進捗状況等について
- (2) 上今井左岸地区埋立てについて
- (3) 上今井遊水地整備写真展の開催報告について



遊水地整備については工事の進捗状況および今後の工事予定、また左岸地区埋立てについては、埋立高や用水路のルート、集落内の排水路などに関する案について報告させていただきました。

ご報告

上今井遊水地整備写真展 開催報告

令和7年2月22日(土)～3月9日(日)までの計16日間に渡って、中野市豊田文化センターで開催した『上今井遊水地整備写真展』では、多くの皆さまにご来場いただき誠にありがとうございました。

来場の際にお願いしておりましたアンケートでは、「工事をしていることは知っていたが、写真展を見たことでとてもイメージがしやすくなった」などの感想をいただき、整備内容の理解という面で有意義な取り組みとなりました。また工事スタッフに対する労いの言葉も多くいただき大変励みとなりました。今後に向けた改善点等のご意見や定期開催のご要望等もいただきましたので、次年度以降の開催に向けて反映していく予定です。ご来場・ご意見等ありがとうございました。



河川事務所職員コラム ～北陸金沢のハレの日料理 その名も「べろべろ」～

私をご紹介しますご当地グルメは、北陸石川県は金沢で、お正月やお祭りなどのハレの日料理として古くから地域に親しまれている、その名も「べろべろ」です。

「べろべろ」といえば、一般的には「べろべろに酔っ払う」や「べろべろばー」などの使い方が頭に浮かぶかと思いますが、金沢で「べろべろ」と言えば写真にあるような郷土料理のことを指します。そのユニークな名前の由来は諸説ありますが、見た目が似ている「べっこう」が訛って「べろべろ」になったという説が有力とか。

石川県金沢地方出身男性職員



そのルーツは江戸時代にあるといわれ、当時まだ貴重品だった卵と砂糖を、日本海で豊富に採れたテングサを使ってご馳走に仕立てたのが始まりだそう。

調理方法は甘い出汁に卵を溶き入れて寒天で固めるといふもので、かなり甘じょっぱい味のため、県外の方はもちろん地元民の間でも「おかずかお菓子か分からない」という声もあります。

私にとっては、ふるさとを思い出させてくれる特別な味です。

なおアンケートにて投票いただいた『今回の展示で印象に残った写真』得票数ベスト3は以下の結果となりました (2位は同票で2作品)



【その他 アンケート感想抜粋】

- だんだん形になっていく様子を見ることができてよかった。
- ダンプで文字を作るユーモアが良かった。
- ドローンで上空から撮影した写真は大変見やすく分かりやすかった。
- 構造物の一つ一つが大きく迫力があって、工事現場の苦勞が一見して感じられた。
- 夜景のライトアップ写真がとても綺麗で良かった。



お問い合わせ先	●事業全般に関すること	千曲川緊急治水対策出張所	電話	0269-67-0450
	●用地補償に関すること	千曲川河川事務所 用地第一課	電話	026-227-7613
		用地補償 (上今井区前島・栗林区) 用地第三課	電話	026-227-0480
	●工事に関すること	中野出張所 建設監督官	電話	0269-22-2729

工事進捗状況

